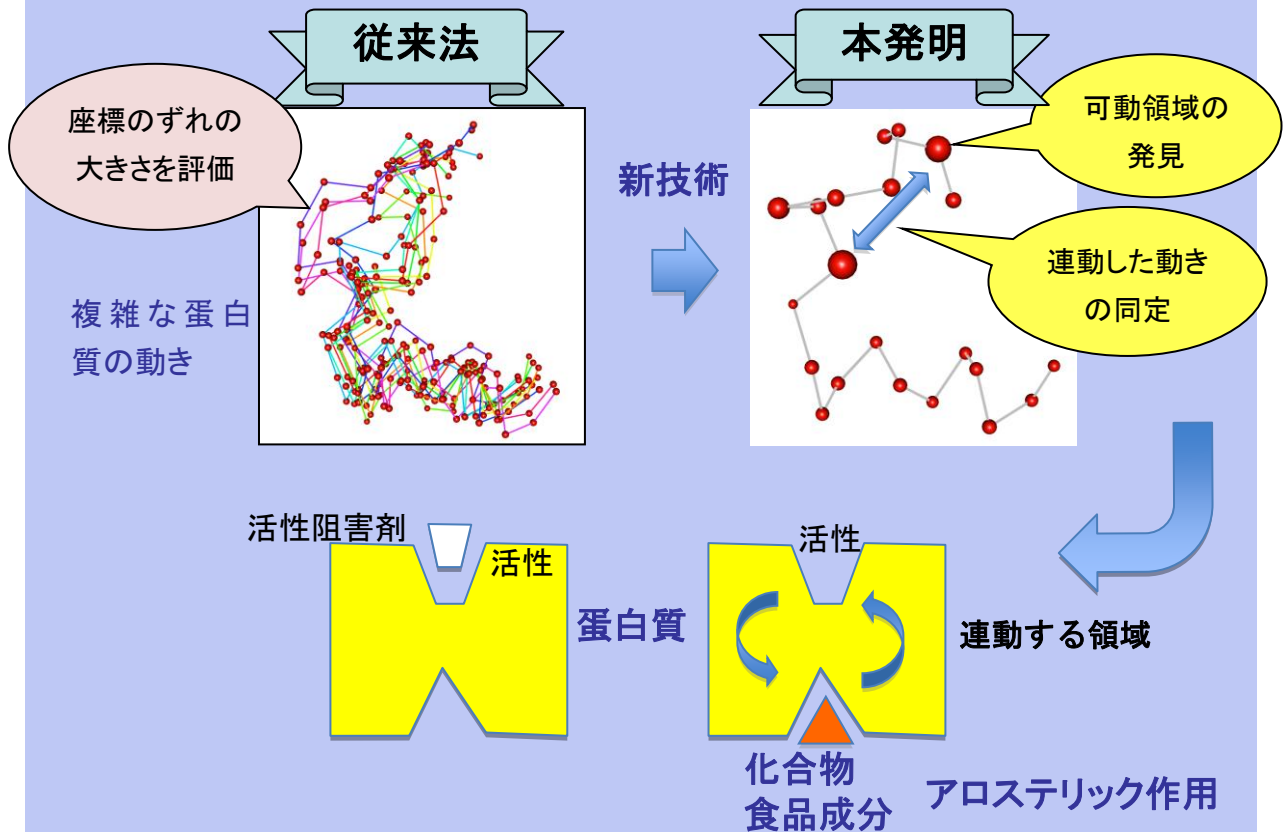




創薬を加速する蛋白質動的構造の可視化技術

研究内容の概要:本可視化技術を用いて、これまで表示できなかった動的構造が評価できるようになりました。新しい創薬評価技術として活用できます。



特長／効果

- 従来は活性部位に直接結合する化合物のみを評価。
- 本技術では揺れ動く蛋白質の動的構造を可視化できる。
- アロステリック効果を持つ蛋白質領域が探索できる。
- 蛋白質以外の高分子化合物にも適用可能。

利用／用途

- 新規糖尿病治療薬の開発など。
- 蛋白質アミノ酸変異の効果の解析。
- 食品由来機能性成分の作用機構の解析。
- クロマチンなど DNA 高次構造の変動評価。

| | | | |
|-----------------|----------------|--|-------|
| 知的財産権等情報 | | 生物理工学部 食品安全工学科 | 白木 琢磨 |
| 特許出願 | 特願 2018-229451 | URL: https://www.kindai.ac.jp/bost/ | |
| 論文等 | 1 編 | | |

連絡先: 近畿大学 リエゾンセンター(KLC)
 〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3-4-1 E-mail: klc@kindai.ac.jp
 TEL:06-4307-3099 FAX:06-6721-2356 URL: <http://www.kindai.ac.jp/liaison>